

－2019年度第1回（第20回）建設技術講演会－

共催：（一財）茨城県建設技術管理センター
（公社）土木学会 関東支部 茨城会

（一財）茨城県建設技術管理センターおよび土木学会関東支部茨城会では、都市空間の安全安心を創る様々な建設技術について、最先端の研究者・技術者をお招きして勉強する会を広く一般に公開しています。私どもが安心して暮らすことのできる社会を創るための建設技術を多くの方々に知って頂きたいと、参加費は無料とし、技術者の継続学習への貢献を考え、聴講者には土木学会 CPD 単位をお渡ししております。この度は下に示す2名の講師による講演を企画いたしました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。どうぞお気軽に参加申込を頂ければと存じます。

○開催日時：2019年7月12日（金） 受付 12:30～ 講演 13:45～16:15

○場所：（公財）茨城県開発公社 4階 大会議室

○プログラム：

13:45 開会

13:45 主催者挨拶

13:50～15:00 （質疑時間を含む）

〈講演1〉新しい建設生産システムに向けた最近の動向

〈講師〉鹿島建設株式会社 執行役員土木管理本部 副本部長
公益社団法人 土木学会関東支部 支部長
利徳 吉彦 氏

〈概要〉建設業界では、現下の繁忙の中で、今後の市場変化、働き方改革、担い手確保等の構造的な問題に対し、将来に向けた投資や対策をいかに講じていくかが、各企業や業界全体に共通する課題認識となっている。そこでの基本要件は、急速に進歩する ICT やロボット、AI 等の技術を活用した生産性向上である。建設会社での事例を中心に、産官学で取り組まれている、生産性の抜本的な向上を目指した新しい建設生産システムに向けた最近の動きを紹介する。

15:00～15:10 休憩

15:10～16:15 （質疑時間を含む）

〈講演2〉巨大地震による複合災害の実態と今後の課題

〈講師〉筑波大学大学院 システム情報工学研究科 構造エネルギー工学専攻
ディザスタ制御学域 准教授 庄司 学 氏

〈概要〉2011年東北地方太平洋沖地震においては、強震動、津波、液状化、及び、斜面崩壊等の作用に伴ってインフラ・ライフライン構造物には甚大な被害が発生した。

本講演では、このような主に巨大プレート間地震による複合災害の実態を俯瞰的に紹介するとともに、それを踏まえたインフラ・ライフライン構造物のレジリエンス向上に資する対策について紹介する。

16:15 閉会

○参加費：無料（事前登録制、別添申込書により FAX 又は Eメールでお申し込み下さい）

○特典：希望者には土木学会 CPD 単位が発行されます。

○連絡先：〒316-8511 日立市中成沢町 4-12-1 茨城大学工学部

土木学会関東支部事務局 担当：曾我部まで

TEL/FAX:0294-38-5160 E-mail: sogabe.natsumi.0123@gmail.com

2019年度第1回(第20回)建設技術講演会 参加申込書

〈開催日時〉

2019年7月12日(金) 受付 12:30～ 講演 13:45～16:15

〈開催場所〉

(公財)茨城県開発公社 4階 大会議室

〈申込者〉

機関・所属名	
申込者職氏名	
電話番号	
FAX番号	

〈参加者〉

所属(課・所)	役職名	参加者氏名	CPD希望の有無
			要・不要

〈申込先〉土木学会関東支部茨城会 担当

事務局 曾我部宛

TEL/FAX 0294-38-5160 E:mail : sogabe.natsumi.0123@gmail.com

※FAXの場合は送り状不要です。

〈申込期限〉2019年6月28日(金)まで

※CPD希望の有無は、必ず記入して下さい。